



## 2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月28日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東  
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883  
 四半期報告書提出予定日 2020年4月28日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年6月21日～2020年3月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	24,743	△1.6	878	△12.0	1,075	△10.6	761	△6.2
2019年6月期第3四半期	25,153	△1.2	997	△34.1	1,202	△27.2	811	△29.9

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 411百万円(△38.3%) 2019年6月期第3四半期 667百万円(△55.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	26.80	26.67
2019年6月期第3四半期	28.56	28.45

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第3四半期	30,304	21,374	70.2	747.97
2019年6月期	26,132	21,334	81.3	747.47

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 21,259百万円 2019年6月期 21,244百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年6月期	—	7.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年6月21日～2020年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	0.5	1,200	△14.0	1,400	△14.5	1,000	3.8	35.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期3Q	32,459,692株	2019年6月期	32,459,692株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年6月期3Q	4,037,295株	2019年6月期	4,037,227株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年6月期3Q	28,422,399株	2019年6月期3Q	28,422,465株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の一部に弱さが残るものの、雇用環境は改善傾向となり、緩やかな回復傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、先行きは厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、新たな需要を獲得するべく、引き続き積極的な新製品投入を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、親会社である当社の売上高は堅調に推移したものの、国内子会社の売上高が低迷しており、売上高は247億4,338万円（前年同期比1.6%減）となりました。利益面では、売上高の減少により、販売費及び一般管理費率が前年同期に比べて上昇したため、営業利益は8億7,806万円（前年同期比12.0%減）、経常利益は10億7,560万円（前年同期比10.6%減）となりました。特別利益として、当社の旧仙台営業所の土地と建物の売却による固定資産売却益が計上され、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億6,167万円（前年同期比6.2%減）となりました。

また、キングジムグループ各社の商品を集めた展示イベント「キングジムフェア」は、従来から開催している12月に加えて、2019年には初めて7月にも開催し、延べ4万人を超えるお客様にご来場いただきました。

本年夏の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を決定しており、今後の開催予定は未定ですが、このようなイベント等も生かしながら、市場への一層の浸透を図り、需要の拡大に取り組んでまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 文具事務用品事業

ステーションナリーにおきましては、2015年の発売以来、ご好評を頂いている「テフレーヌ」シリーズに華やかな表紙柄のリングノート「テフレーヌスタイル」とビジネスマン向けモデル「テフレーヌ ビズ」を発売し、ラインアップ拡大を図りました。また、便箋風のデザインをあしらったふせん「便箋ふせん」や書類をホルダーに入れたまま書き込むことが可能な「カキコホルダー」を発売いたしました。

電子製品におきましては、スマホで操作できる手のひらサイズのラベルプリンター「テブラ」 Lite LR30や、広幅テープや大量印刷に適した「テブラ」の最上位モデル「テブラ」 PRO SR-R7900Pを発売した他、訪日外国人とのコミュニケーションに活用できる翻訳機「ワールドスピーク」に据置型とポータブルタイプの2種を発売いたしました。オフィス環境改善用品では2017年に発売した扉の向こう側に人がいる事を点滅してお知らせする「扉につけるお知らせライト」に無線タイプを追加発売した他、防災用品シリーズについてもラインアップ拡大を図りました。その他、必要な時に必要な分だけ梱包材を作成できるエアクッションメーカー「エアフィット」を発売いたしました。

この結果、ステーションナリーの売上高は主力の厚型ファイルの販売減等により前年割れとなったものの、電子製品の売上高は前年を超えたため、売上高は199億2,706万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は、販売費及び一般管理費が前年同期に比べて増加したため、9億2,942万円（前年同期比3.2%減）となりました。

なお、当社は2020年1月に香川県高松市にある作業用手袋の製造・販売を行っているウインセス(株)および(有)ウインズ(2020年4月1日付で合併。存続会社はウインセス(株))の株式を取得し、子会社化いたしました。当社およびウインセス(株)は販売面での補完関係など、相互の経営資源を有効に活用して企業価値を向上させ、事業拡大を目指します。子会社化による2020年6月期の連結業績に与える影響は軽微となる見通しであり、現時点での重要性が乏しいため、連結の範囲には含めておりません。

## ② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具では、楽天市場やPayPayモールなどのECモールにて、組立家具や冬の需要期に向けた季節商材を中心に拡販に努めてまいりました。今後はECモールの施策と歩調を合わせながら、効果的なセール販売などで、顧客層の拡大に取り組んでまいります。㈱アスカ商会では、桜やミモザ等の季節商材の商品拡充を図るとともに、日本の伝統的な花木類を商品化し他社との差別化を実現しております。また、好調な観葉植物類のラインアップを強化し、拡販を図ってまいりました。㈱ラドンナでは、「Toffy」シリーズから「電気グリル鍋」や「卓上電気コンロ」等の新製品の発売と人気の「ハンディチョッパー」への新色追加等ラインアップの強化を実施いたしました。その他、「3WAYベジタブルクイックスライサー」など他社で展開のないオンリーワン商材を開発するなど、積極的に新しい価値の創造にチャレンジいたしました。

この結果、各種の拡販施策を行いました。3社ともに売上が前年割れとなったため、売上高は48億1,631万円（前年同期比14.8%減）、売上高の低迷が響き、営業損失は6,259万円（前年同期は2,367万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、41億7,155万円増加し、303億421万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少した一方で、現金及び預金、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、41億3,200万円増加し、89億3,015万円となりました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、3,954万円増加し、213億7,406万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金や退職給付に係る調整累計額が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今般の新型コロナウイルス感染症による影響が不透明であることから、2020年1月29日に公表いたしました連結業績予想は据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,658,771	6,303,754
受取手形及び売掛金	4,752,922	5,839,099
商品及び製品	5,985,143	6,950,615
仕掛品	371,864	427,024
原材料及び貯蔵品	1,441,439	1,295,098
その他	391,501	473,442
貸倒引当金	△5,076	△7,956
流動資産合計	17,596,567	21,281,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,738,083	5,731,667
減価償却累計額	△3,464,803	△3,493,630
建物及び構築物(純額)	2,273,279	2,238,036
機械装置及び運搬具	2,643,014	2,668,752
減価償却累計額	△2,271,910	△2,351,227
機械装置及び運搬具(純額)	371,104	317,525
土地	1,615,277	1,592,177
建設仮勘定	24,718	66,198
その他	2,787,619	2,961,203
減価償却累計額	△2,542,327	△2,651,555
その他(純額)	245,291	309,647
有形固定資産合計	4,529,671	4,523,585
無形固定資産		
その他	335,504	454,428
無形固定資産合計	335,504	454,428
投資その他の資産		
投資有価証券	2,123,494	1,590,466
関係会社株式	—	830,000
退職給付に係る資産	991,211	1,012,334
繰延税金資産	145,417	164,317
その他	414,610	451,772
貸倒引当金	△3,813	△3,765
投資その他の資産合計	3,670,920	4,045,124
固定資産合計	8,536,097	9,023,138
資産合計	26,132,664	30,304,217

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,745,822	2,459,718
短期借入金	—	3,440,000
未払法人税等	400,219	292,670
未払金	660,889	650,915
役員賞与引当金	33,796	16,486
その他	837,037	1,063,130
流動負債合計	3,677,765	7,922,921
固定負債		
繰延税金負債	457,168	309,370
退職給付に係る負債	364,270	396,414
資産除去債務	21,283	21,430
その他	277,657	280,014
固定負債合計	1,120,380	1,007,229
負債合計	4,798,146	8,930,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,383,666	2,383,776
利益剰余金	20,506,886	20,870,648
自己株式	△3,567,808	△3,567,866
株主資本合計	21,301,434	21,665,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522,505	149,134
繰延ヘッジ損益	△2,826	△761
為替換算調整勘定	△409,096	△421,013
退職給付に係る調整累計額	△167,068	△133,526
その他の包括利益累計額合計	△56,485	△406,166
新株予約権	89,569	109,292
非支配株主持分	—	5,692
純資産合計	21,334,518	21,374,066
負債純資産合計	26,132,664	30,304,217

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2019年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月21日 至 2020年3月20日)
売上高	25,153,190	24,743,387
売上原価	15,388,183	15,112,576
売上総利益	9,765,007	9,630,810
販売費及び一般管理費	8,767,183	8,752,742
営業利益	997,823	878,068
営業外収益		
受取利息	9,758	10,855
受取配当金	47,093	55,272
為替差益	27,200	24,450
受取賃貸料	119,198	115,917
その他	45,576	37,592
営業外収益合計	248,827	244,089
営業外費用		
支払利息	3,684	4,916
賃貸収入原価	35,946	35,548
その他	4,264	6,082
営業外費用合計	43,896	46,548
経常利益	1,202,755	1,075,609
特別利益		
固定資産売却益	754	62,765
特別利益合計	754	62,765
特別損失		
固定資産売却損	—	1,082
固定資産除却損	8,271	14,049
特別損失合計	8,271	15,131
税金等調整前四半期純利益	1,195,238	1,123,243
法人税、住民税及び事業税	348,747	385,816
法人税等調整額	22,844	△24,099
法人税等合計	371,592	361,716
四半期純利益	823,646	761,526
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,804	△149
親会社株主に帰属する四半期純利益	811,841	761,676



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2019年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月21日 至 2020年3月20日)
四半期純利益	823,646	761,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215,275	△373,370
繰延ヘッジ損益	△203	2,064
為替換算調整勘定	17,216	△11,917
退職給付に係る調整額	42,568	33,542
その他の包括利益合計	△155,694	△349,680
四半期包括利益	667,952	411,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	656,691	411,995
非支配株主に係る四半期包括利益	11,260	△149

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年6月21日 至 2019年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,497,480	5,655,710	25,153,190	—	25,153,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51,826	140,694	192,521	△192,521	—
計	19,549,306	5,796,404	25,345,711	△192,521	25,153,190
セグメント利益	960,564	23,674	984,239	13,583	997,823

(注) 1. セグメント利益の調整額 13,583千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年6月21日 至 2020年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,927,069	4,816,317	24,743,387	—	24,743,387
セグメント間の内部売上高 又は振替高	64,529	193,123	257,653	△257,653	—
計	19,991,599	5,009,440	25,001,040	△257,653	24,743,387
セグメント利益又は損失(△)	929,421	△62,596	866,824	11,243	878,068

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 11,243千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。